

大村高校「文理探究科」に関するQ&A

<高校生活・探究活動・進路選択編>

○ 大村高校の探究型学習はどのようなものですか？

○ 課題研究（課題探究）とは何ですか？

○ 文理探究科に入学するときに、探究したいテーマをもっている必要がありますか？

○ 文理探究科の校外学習は、どのような内容ですか？

○ 文理探究科における英語の学習には、どのような特色がありますか？

○ 文理探究科に入学しても部活動を行うことは可能でしょうか？

○ 文理探究科には様々な活動があるため忙しくなり、部活動ができなくなったりしませんか？

○ 文理探究科を卒業後、どのような進路が考えられますか？

○ 現在の大学入試は以前に比べどのように変化したのでしょうか？

○ 文理探究科では、探究型の学習が重視されることで、大学入試に不利になりませんか？

○ 大学入試の総合型選抜や学校推薦型選抜は受験できますか？

○ 探究的な活動を経験した先輩は、どんな感想を持っていますか？



Q 大村高校の探究型学習はどのようなものですか。

- 答えが用意されていない問題に対処するために必要な姿勢、知識、技術を身につけることを目的とする大村高校独自の学習となります。
- 探究型学習は普通科・家政科ともに行われますが、特に文理探究科では探究型学習の時間数を多く確保し、1年次の「サイエンス基礎」、
「OMURA STEAM LABO」、「探究プラットフォームⅠ」に始まり、
2・3年次の「探究プラットフォームⅡ」まで、充実した探究活動を体験できます。
- 変化し続ける社会や未だ解明されていない点が多い自然界は、答えが用意されていない問題に満ちています。新たな領域を自ら発見し、解決していくためには、物事をよく観察して正しい情報を見極める力、情報を分析して論理的に考える力、他者の考えを受け止め、自分の考えを人に伝える力などが必要です。
- 本校の探究型学習の授業では、探究活動を通してこれらの力を育てていきます。



Q 課題研究（課題探究）とは何ですか。

- 課題研究では、多様な教科や科目の学習によって深められた興味・関心や知的な好奇心等に基づいて設定した課題を個人やグループで解決を図っていきます。
- 研究については、本校教員をはじめ、大学の先生や県内の研究機関や行政機関、地元企業の方々の指導を受けながら研究をしています。
- また、研究テーマについてレポートをまとめたり、英語でプレゼンテーションしたり、表現力を身に付ける活動を多く取り入れています。
- 本校は、文部科学省よりSSHの研究指定を受けており、SSHの取組によって課題研究の内容をより深めています。
- このような活動を通して、大学入試や大学での学びの変化に対応できる様々な力を身に付けていきます。





Q 文理探究科に入学するときに、探究したいテーマをもっている必要がありますか。

- 入学する段階で必ずしも探究したいテーマをもっている必要はありません。
- テーマを見つけることも探究型学習の大切な要素ですので、入学後に学校の授業の中で必要なスキルを身に付けながら、探究するテーマを考えていくことができます。
- もちろん探究したいテーマがある人は、そのテーマについて探究を深めていくこともできます。

例)「大村高校周辺における希少な沿岸性ウミアメンボ類の生息状況」
「マスクによる肌への影響～マスクによる肌荒れを防ぐために～」など



Q 文理探究科の校外学習は、どのような内容ですか。

- 大村市内の自然に触れ、生物の生態を調査したり、大学や研究機関に出向いたりして専門的な講義や実習を行うことで専門性を高めています。
- また、文理探究科では、海外での校外研修（修学旅行）を実施します。現地では、将来のグローバル人材の育成に向けて、現地の高校生や大学生との交流をとおした語学研修や大学等での研修を行うなど、普段の授業では体験できない学びに取り組みます。



Q 文理探究科における英語の学習には、どのような特色がありますか。

- これからの大学入試において求められる英語4技能（話す、書く、聞く、読む）の向上を目指した指導を積極的に行います。
- これに加え、英語を実践的に活用する力を身に付けさせるため、1、2年次に県内のALTや県立大学の留学生との交流や海外研修旅行において海外の高校生等と交流する機会をつくっています。
- 英語の授業では、1人1台端末で海外のネイティブスピーカーとオンラインでつながることができる英会話教材を使用します。グローバル社会で求められる英語コミュニケーション能力の基礎を身につけ、実践的な英会話力や英語を用いた協働学習の展開を目指します。





Q 文理探究科に入学しても部活動を行うことは可能でしょうか。

- 文理探究科に入学しても、普通科や家政科の仲間と一緒に部活動を行うことはもちろんできます。
- 本校では両道不岐の校是のもと、バランスのとれた総合的な人間力を養ううえで、部活動の取組も重視しています。部活動を含めた調和のとれた学びによって、これからの時代に求められる「総合的で高い学力」を育むことができると考えています。
- 現在の数理探究科の生徒も運動部や文化部で活動しているたくさんいますし、理科部の活動とともに他の部活動と兼ねながら頑張っている人もいます。



Q 文理探究科には様々な活動があるため忙しくなり、部活動ができなくなったりしませんか。

- 文理探究科として様々な活動があることは事実ですが、部活ができないことはありません。一方で、そのような活動がこれからの社会において必要であることは、皆さんに説明しているとおりです。様々な活動を自分で計画を立てて実行していく力を身につけることは非常に大切なことです。
- 大村高校は、皆さんが部活動はもちろんのこと、様々な活動に打ち込めるよう支援していきます。皆さんが究めたい活動に一生懸命取り組める学校です。



Q 文理探究科を卒業後、どのような進路が考えられますか。

- 理数探究では、理科系学部（理学、工学、農学、医学、歯学、薬学、看護学、教育学（理）、環境科学）への進路が考えられます。
- 国際探究では、文科系学部（法学、経済学、文学、外国語学、国際学、教育学（文））への進路が考えられます。
- どちらとも、難関大学・学部への進学を目指す生徒に対してきめ細やかな指導を行い、多くの生徒が進路実現を図るよう指導していきます。





Q 現在の大学入試は以前に比べてどのように変化したのでしょうか。

- 大学入学者選抜改革により、
 - ①「知識・技能」
 - ②「思考力・判断力・表現力」
 - ③「多様な人々と協働して学ぶ主体的な態度」について、多面的・総合的に評価する入試へと変化しています。
- 学力の3要素がバランスよく評価される総合型選抜や学校推薦型選抜の定員割合が大きくなり、令和3年度入試からは「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に切り替わりました。
- また、より詳細に記載するようになった調査書を大学側が積極的に活用するなど、高校での学習履歴が重視されるようになりました。
- 大村高校では、探究型学習を通して教科横断型の力や表現力を養い、新しい大学入試に対応する学力を身につけていきます。現在も多くの生徒が、本校の探究型学習での活動を活かし、総合型選抜や学校推薦型選抜にチャレンジし合格しています。



Q 文理探究科では、探究型の学習が重視されることで、大学入試に不利になりませんか。

- 大学入試は「何を学んだか」だけでなく、志望理由書や面接試験など様々な方法で「どのように学んだか」「どのように学ぼうとしているか」について評価するものになってきています。
- 文理探究科での学習は、この新しい大学入試に対応した、「総合的で高い学力」を伸ばすものです。
- したがって、大学入試に不利になることはありません。
- 進路希望を実現するために行ってきたこれまでの大村高校の授業をしっかりと行った上で、更に充実した探究型の学習を行います。
- また、専門教科「理数」「英語」では、よりレベルの高い学力を養成します。教科学習で培った知識を探究活動に活用することで、これからの大学入試に必要な力を伸ばすことができます。





Q 大学入試の総合型選抜や学校推薦型選抜は受験できますか。

- 可能です。探究活動で教科横断型の力や表現力を養い、総合型選抜や学校推薦型選抜をはじめとした、新しい大学入試に対応する「思考力、判断力、表現力」などの応用的な学力を身に付けていきます。
- 現在も本校の多くの生徒が、本校の探究型学習での活動実績を活かし、推薦入試にチャレンジしています。



Q 探究的な活動を経験した先輩は、どんな感想を持っていますか。

- 大村高校を卒業した先輩の感想には、「(課題探究で) 研究の楽しさを高校時代に体験できたことは大きいです。」「テーマ決めや課題解決の手順を考えるとという経験は、大学でもグループで課題解決を行う際に活かされています。」などがあります。
- ここをクリックすると、先輩たちの感想を見ることができるよ！

↳ [《卒業生によるコメント》](#)

